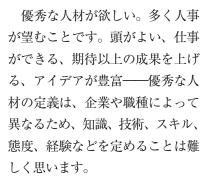
## 世界の人事はこうなっている

リクルート ワークス研究所 グローバルセンター長 村田弘美

第6回

## **エリートを輩出するグランゼコール** (フランス)



エリートとは、「優れた資質や 技能を持ち、社会や組織の指導的 地位にある階層・人びと」(広辞 苑) のことです。フランスでは、 だれもが認めるエリート人材がい ます。

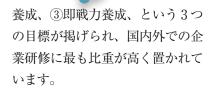
そして、「グランゼコール」は、 歴代大統領や首相、大臣、会社役 員などを多く輩出する、エリート 養成のための高等教育機関であ り、企業はその卒業生を、将来の 管理職、役員候補として採用し、 ファストコースの対象としていま す。日本では、マクロン仏大統領 がIEP(パリ政治学院)と ENA(フ ランス国立行政学院)の出身者、 ルノーのカルロス・ゴーン会長が エコール・ポリテクニークの出身 者として有名です。

今回は、こうした人材を生み出すグランゼコールの教育プログラムの一部を紹介しましょう。

まず、入学後に学ぶのは「志」です。厳選された学生を、質の高い教育と実践を通して、"国を支えるエリート人材"に養成する機関として、初年度は職業人としての人格形成、職業倫理を身につけることに、最も力を入れています。

たとえば ENA では、国務を担 う者としての責任や、私利私欲 でなく国益保持と諸外国との調 整、公共サービスの中立性を認識 させ、行政の発展と向上に貢献す ることを学びます。教育の質を担 保するために、公・民間部門の第 一線で活躍する専門家が教授を務 めます。また2年間の初期教育課 程では、職業にかかわる学際的な 教育プログラムとして、学校教育 とインターンによる実務(5~22 週間程度)の「交互教育制度」が 行われるなど、職業の基礎や実務 のノウハウから環境への適応能力 までを徹底的に叩き込まれます。

一方、エコール・ポリテクニークは、実践重視のカリキュラムです。エンジニア課程は4年間で、前半2年間は一般教養、後半2年間が深化・専門化課程です。①複数分野にわたる科学教育、②人格形成と外の世界に開かれた人材の



2年次は流通、金融、研究開発での「企業研修(4~6週間)」、3年次は大学、企業、金融、行政機関での「研究研修(3~5カ月)」、4年次は「就職準備研修(1年間)」と、現場経験を積むことで、さらに専門性を高めます。近年は、1年次はフランス国内、2年次はドイツ、3年次は中国などで研修が行われ、卒業後は、国際経験をもつ管理職候補としてファストコースを進みます。

最近は、日本の大学もフランスのこうした機関と提携を始めており、今後はグランゼコール出身の日本人が増えることも予想されます。人事担当者が気をつけるべきことは、彼らがエリート教育の修了者だということ。"優秀な人"を、いわゆる新入社員として一律に扱うのは、人的資源の無駄遣いとなりかねません。

配置や仕事内容によって不要な 遠回りはさせない、保有能力を見 極め、早期に能力発揮させる施策 を講じるなどの必要があります。